

ちば港を知ろう！ ～海と日本プロジェクト～

アンケート調査結果

【調査目的】

千葉港は貨物取扱量が全国2位の国際貿易港ですが、企業岸壁が多い事から市民や県民の皆さんには千葉港と親しむ機会が少なく、身近に接する機会がありませんでした。そのため、将来を担う子供達に港湾施設見学や船舶の体験乗船などを通じ、海の大切さ・重要性について認識を深めていただくために「ちば港を知ろう！海と日本プロジェクト」を開催しました。イベントの定性的及び定量的評価方法として、来場者を対象にアンケートを実施いたしました。

【調査対象】

「ちば港を知ろう！海と日本プロジェクト」において以下のイベントの参加者

- ・練習船「大成丸」一般公開
- ・観光船「あるめりあ」千葉港周遊クルーズ
- ・海洋教室(大人・こども)
- ・冷凍倉庫見学(大人・こども)
- ・海上保安庁を知ろう！(大人)

■アンケート回答者の属性

平成28年8月5日から7日の3日間に開催された「ちば港を知ろう！海と日本プロジェクト」において来場者アンケート調査を行いました。

回答予定人数は600名だったので、ほぼ予定通り回収できました。

回答者の男女の比率はほぼ均等でした。

年齢別で見ると30代40代が全体の46%と多く、今回のイベントの対象者である小学生の子供を持つ家族の来場が多い事がわかります。

「大成丸」一般公開見学者と千葉港周遊クルーズにおいて、アンケート対象者を大人としたので、年齢別にみると本イベントのターゲットである、小学生・中学生が少ないように見えます。しかし、「大成丸」一般公開会場で大人と子供に分けた人数を数取器カウンターにて確認していたところ、来場者は大人387名・子供137名という結果になりました。

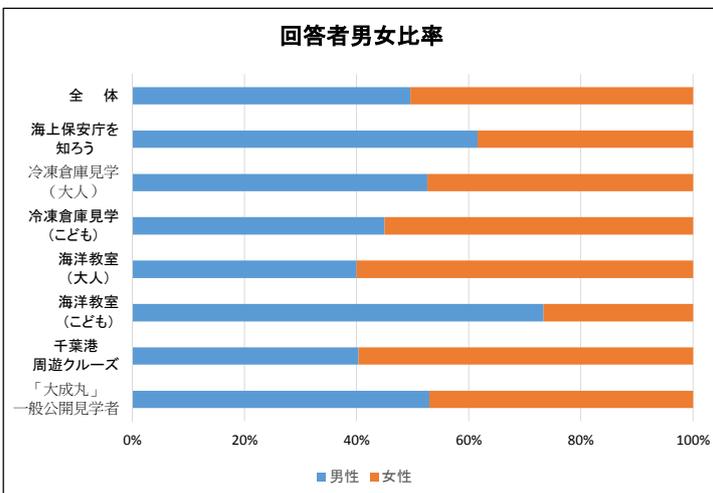
これは一般見学者のうち26%が小・中学生という事であり、今回の「将来を担う子供達に海の大切さ・重要性について認識を深めてもらう」ために来場していただくという目的は達成できたのではと考えられます。

イベント別アンケート回答数

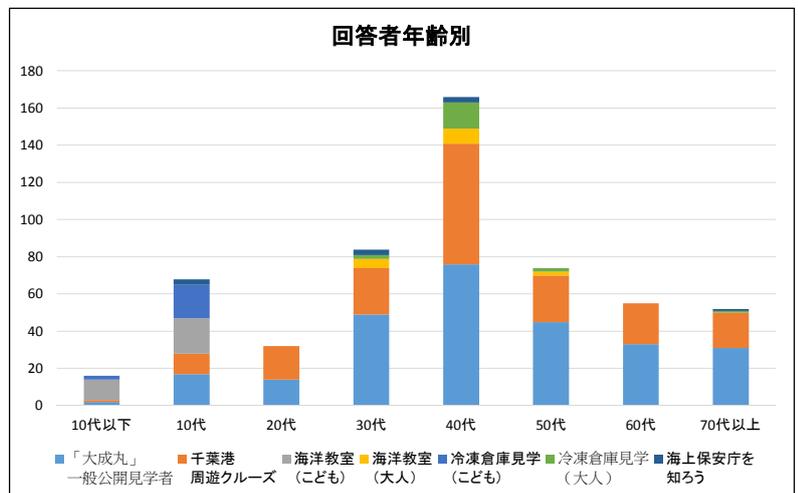
単位(人)

	男性	女性	合計
「大成丸」一般公開見学者	143	127	270
千葉港周遊クルーズ	71	105	176
海洋教室(こども)	22	8	30
海洋教室(大人)	6	9	15
冷凍倉庫見学(こども)	9	11	20
冷凍倉庫見学(大人)	10	9	19
海上保安庁を知ろう(大人)	8	5	13
全 体	269	274	543

回答者男女比率



回答者年齢別



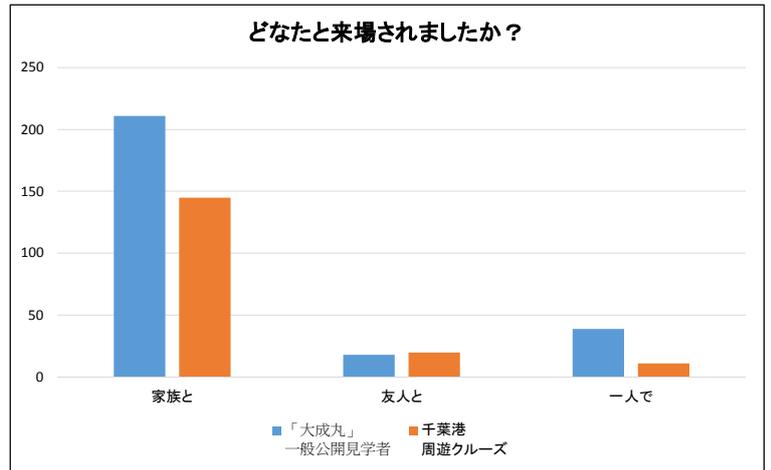
■ Q: どなたと来場されましたか？

一般公開・千葉港周遊クルーズとも「家族と」という回答が80%と最も多く、全体で見ても83%という結果になりました。

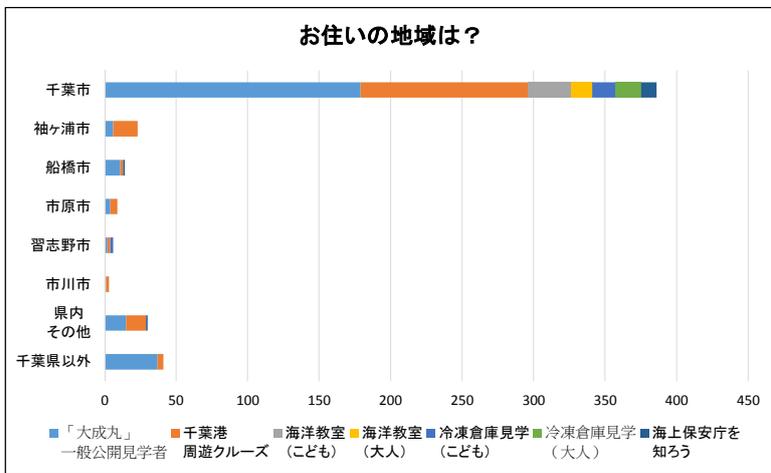
また、一般公開に一人で来た方のうち43%が60代70代で、次いで23%が50代でした。

千葉港周遊クルーズでは54%の方が60代70代です。これは会場周辺に高齢者施設(老人ホームや高齢者専用住居)があるため、お一人で周遊クルーズに申し込みされた方や一般公開に来場された方が多かった事が原因と思われます。

海洋教室・冷凍倉庫見学・海上保安庁を知ろう！については参加対象が小学生または小学生と保護者のイベントです。そのため回答は「家族と」になりますので、集計では除きました。



■ Q: お住いの地域は？



■ Q: お住いの地域は？

全体的に見ても千葉市からの参加者が多数の71%を占めました。これはご来場のきっかけである広報誌がちば市政だよりであることから、予想通りの結果となりました。

また、県外からの参加者としては東京都、神奈川県、埼玉県、茨城県など関東はもとより、兵庫県(姫路)や岡山県からの来場者もありました。

■ Q: ご来場のきっかけは？

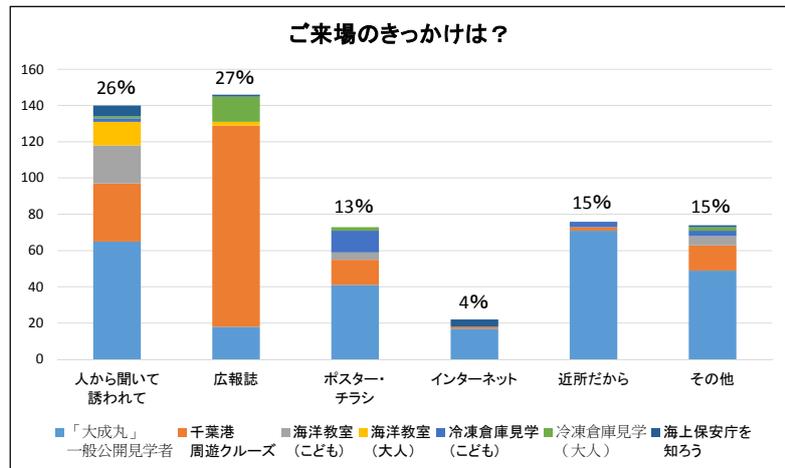
ポスター・チラシを見てのご来場が13%という低い結果になったことの原因としては、広報不足があげられます。

今回、各市の教育委員会へポスター・チラシを配布し説明しましたが、教育委員会から各学校へイベント内容が浸透していなかったことと、配布時期が遅く学校へ配布後すぐに夏休みに入ってしまったために、児童・保護者の目に触れる期間が短かった事が原因と考えられます。

これを踏まえ今後は学校単位でターゲットを絞り、イベントの案内を説明すると共に、学校単位での一般公開及び海洋教室なども検討することとします。

また、千葉市だけではなく、近隣の市の広報誌に掲載させていただくなど、広く広報活動を行っていく事も検討いたします。

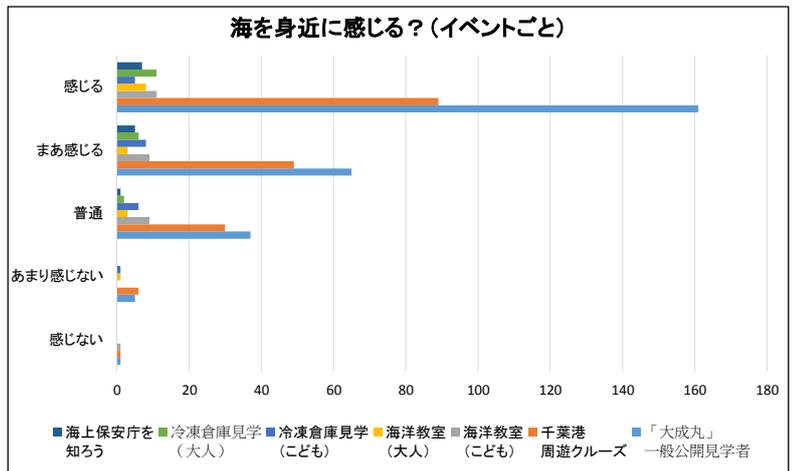
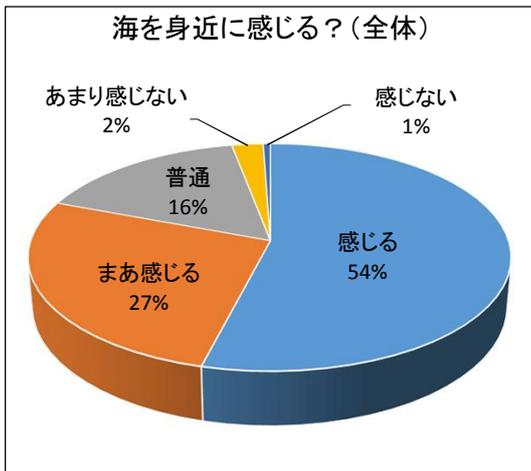
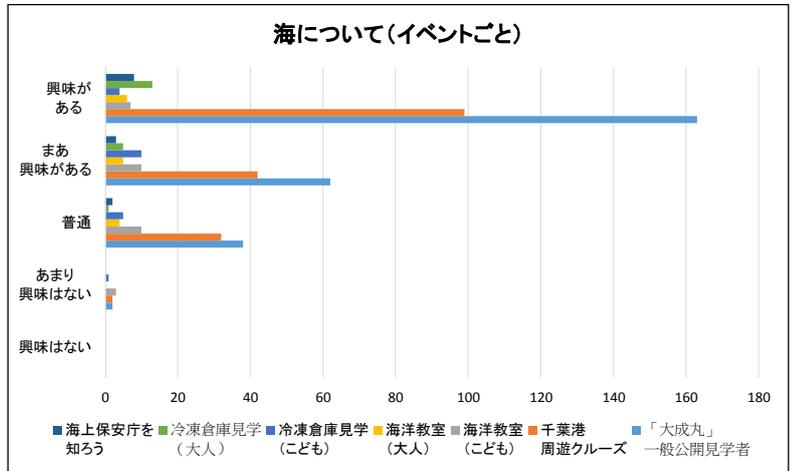
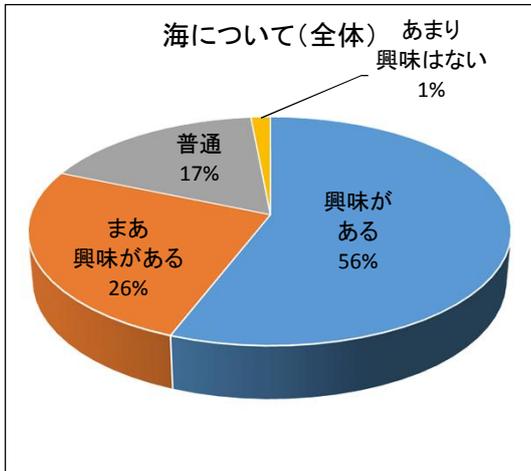
さらに、会場周辺ではポケモンGOや他イベントによって多くの人で賑わっていましたが、海に関心が少ない方々をどう誘引していくかが今後の課題となりました。



■ Q: 海について・海を身近に感じる？

海についての質問では、興味がある・まあ興味があると回答した人が82%となり、来場者の多くが海について関心を持っている事がわかりました。

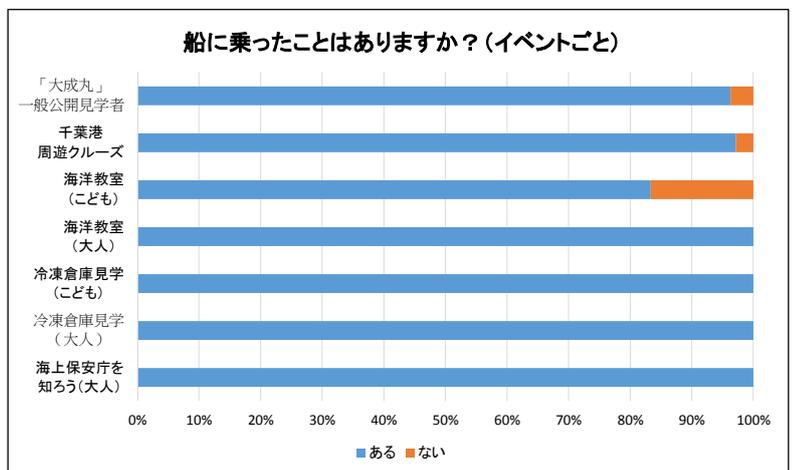
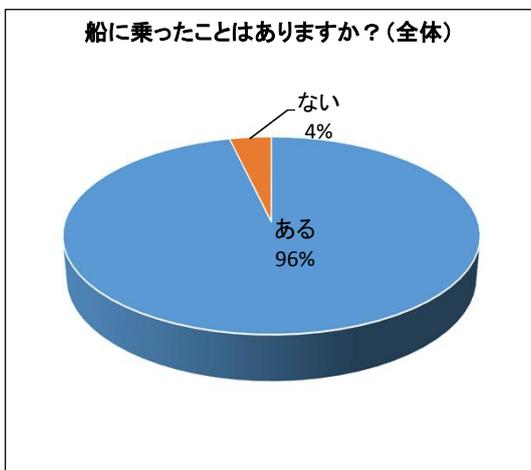
また「海を身近に感じるか？」との質問には81%の人が身近に感じる・まあ身近に感じると答え、海に囲まれた千葉県民にとって海は身近なものであると浸透していると考えられます。



■ Q: 船に乗ったことはありますか？

質問に対して、96%の方が「船に乗ったことがある」と回答しました。

イベント別では、海洋教室に参加した子供の乗船率が83%と若干低めですが、これはアンケート対象が小学生というところもあり、想定範囲内の結果でした。



■Q:どんな船に乗りましたか？

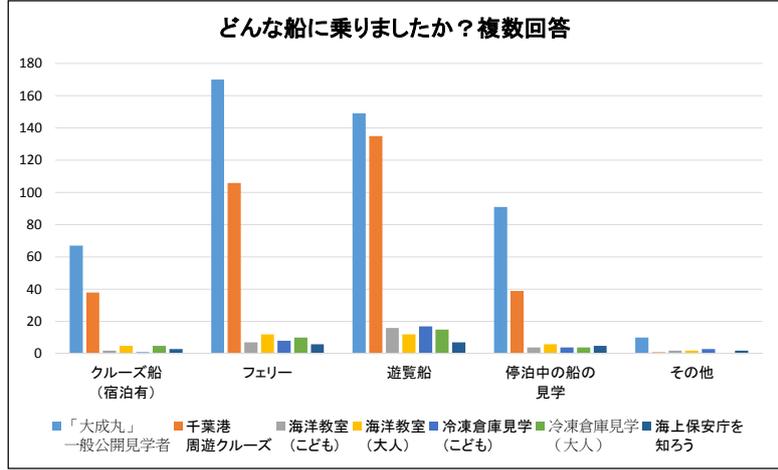
(船に乗ったことのある方複数回答)

乗船した事があるものとしてやはり遊覧船が一番多いという結果になりました。

これは観光などで海上や湖上での遊覧船に乗る機会が多く、また千葉市では小学3年生を対象に、学校ごとに今回のイベントにもある「千葉港周遊クルーズ」を利用しているからという理由があげられます。

2番目に多いのがフェリーで、3番目に多いのが停泊中の船の見学となりました。

クルーズ船については、質問を「宿泊有」としたので、ランチクルーズやディナークルーズも対象にすれば、順番がかわっていたかもしれません。



その他の船に乗船した方に、どのような船に乗ったのかご記入いただいたところ、ヨット・カヌー・カヤック・プレジャーボートなどの海のレジャーで乗船した回答が多数ありました。

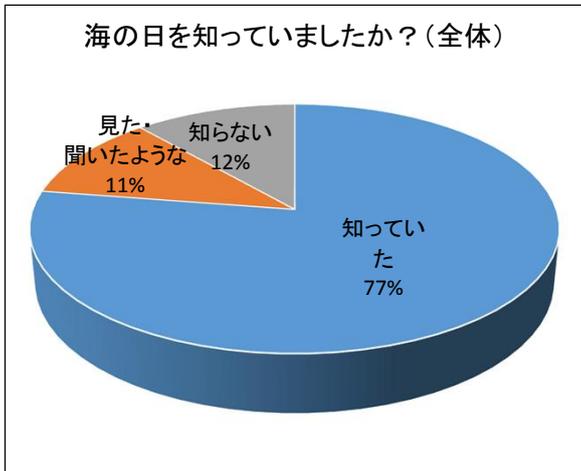
また、少数回答では

- ・漁業監視船
- ・船上結婚式
- ・かごしま丸・敬天丸→鹿児島大学所有の練習船
- ・日本丸・銀河丸
- ・旧日本海軍船「志賀」(こじま) → 過去に千葉市美浜区の公園内に展示してあった
- ・娘さんが大成丸にて実習中

などの回答をいただきました。

船が好きでインターネットなどで情報を集めては乗船に行ってる方や、元船員や元実習生の方などが来場されました。

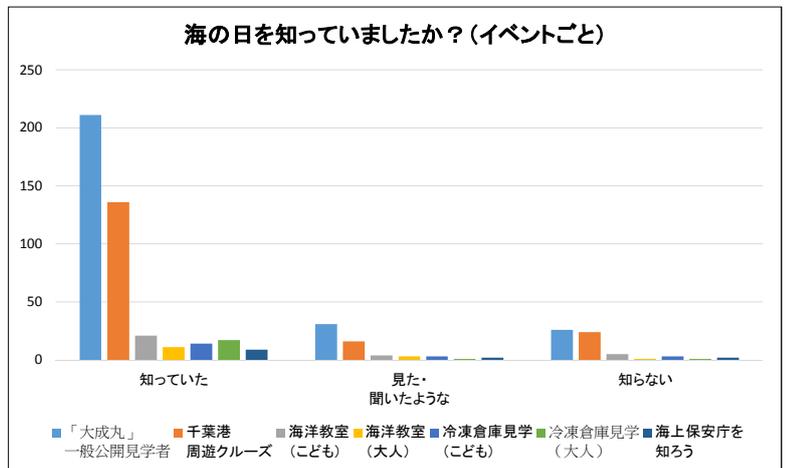
今後は「海が好き」に加え、「船が好き」な方々へも情報発信し、ご来場いただけるように検討して行きたいと考えます。



■Q:海の日を知っていましたか？

質問に対して全体の77%の方が「知っていた」、11%の方が「見た・聞いたような気がする」と回答しました。

どこで知った・見た・聞いたかの問いには、大人では広報誌やテレビという意見が、子供ではカレンダーやテレビという意見が多く見られました。

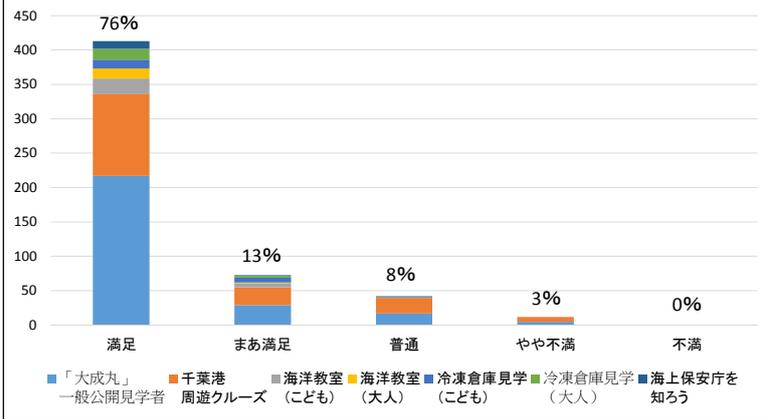


海の日は平成8年に施行され、今年度で21年になります。

毎年テレビなどのメディアでも取り上げられ、カレンダーにも祝日として記載されております。

今後もさらなる認知度のアップを図り、本イベントのような海にちなんだ行事に多くの方が参加される事を期待します。

イベントの内容はいかがでしたか？



■Q: イベントの内容はいかがでしたか？

質問に対して76%の方が「満足」と回答しました。また、「不満」と回答した方は0%という嬉しい結果になりました。

イベントごとでは海洋教室(大人)に参加したかたの満足度が93%と最も高く、次いで海上保安庁を知ろうが85%、冷凍倉庫見学(大人)が84%という結果になりました。その他のイベントについても7割の方に「満足」とのご回答をいただきました。

またイベントの内容について

- ・「大成丸」の食事が食べてみたかった
- ・出航時に見送りたい

などのご意見を頂きました。

■Q: 海を身近に感じる事はできましたか？

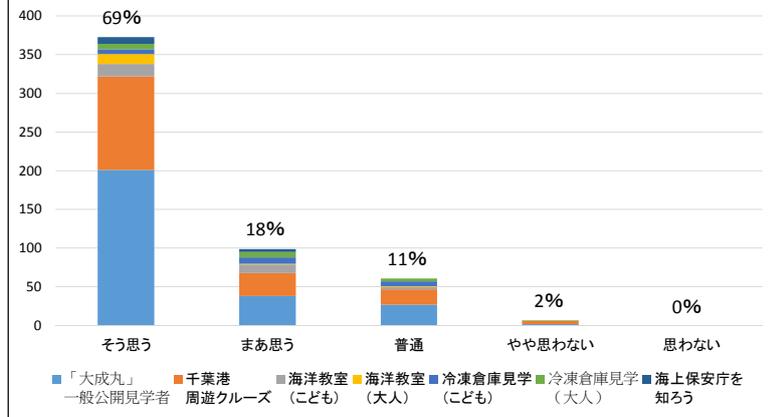
全参加者の69%の方が海を身近に感じたとお答えいただきました。イベントごとに見ますと、

- ・「大成丸」一般公開74%
- ・千葉港周遊クルーズ69%
- ・海洋教室(子ども)53%
- ・海洋教室(大人)87%
- ・冷凍倉庫見学(子ども)30%
- ・冷凍倉庫見学(大人)37%
- ・海上保安庁を知ろう69%

とそれぞれの方が海を身近に感じる事ができました。

冷凍倉庫見学については海の見える場所がコンテナターミナルの岸壁のみとなっていたので、質問の「海を身近に感じる」方が少なかったようです。

海を身近に感じる事はできましたか？



■Q: 来年もこのイベントに参加したいと思いませんか？

全参加者の69%の方に来年もイベントに参加したいとご回答いただきました。

イベントごとに見ても、のきなみ60%以上の方がまた参加したいと考えている事がわかりました。特に千葉港周遊クルーズでは72%の方がまた参加したいとご回答いただきました。

感想でも、

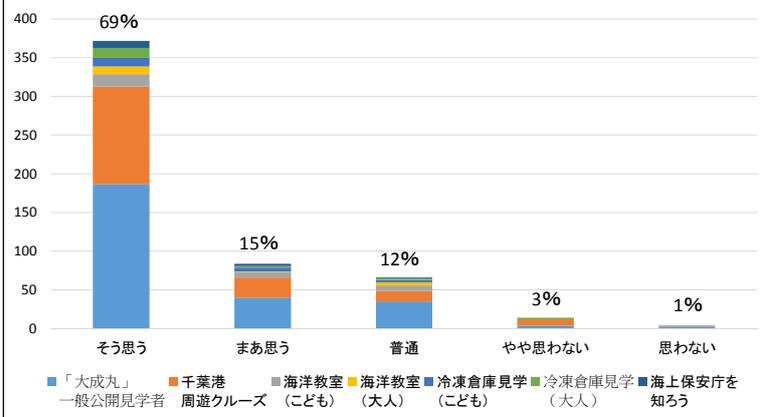
- ・毎年乗っています
- ・毎年楽しみにしています
- ・今度は孫と一緒に乗りたい

など、次回を心待ちにしている感想が多かったです。

しかし子供達のアンケートでは、また参加したいとの回答が海洋教室では53%、冷凍倉庫見学では55%と大人の参加者に比べて低い数字となりました。

これからの検討事項として、もっと子供達に楽しんでもらえる内容を考えていきたいと思えます。

来年もこのイベントに参加したいと思いませんか？



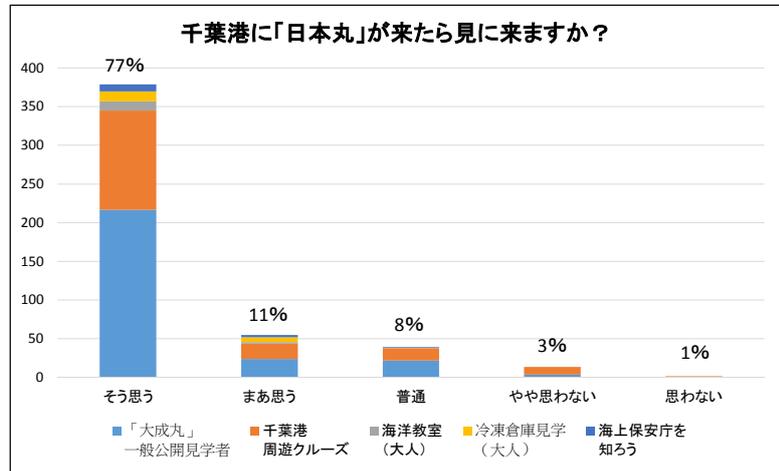
■ Q: 千葉港に「日本丸」が来たら見に来ますか？

全参加者のうち大人の方へ質問しました。77%の方に「日本丸」を見に来たいとのご回答をいただきました。

感想でも

- ・航海訓練所の他の船を見てみたい
- ・客船の見学がしたい

などのご意見をいただき、船の見学に関心が高い事がわかりました。



■ Q: 今後もこのイベントを開催したほうが良いですか？

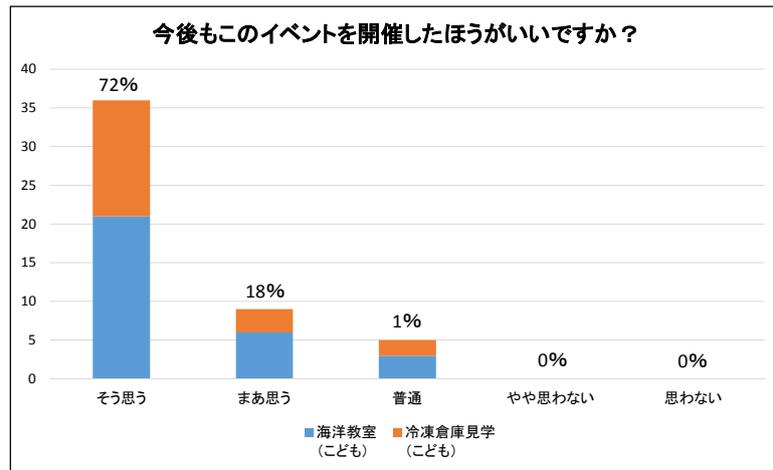
海洋教室と冷凍倉庫見学に参加してくれた子供達に質問しました。72%の子供達が、今後もそれぞれ参加したイベントを開催したほうが良い、との回答をいただきました。

感想でも

- ・船ののことがたくさん知られて良かった(海洋教室)
- ・冷凍倉庫の中での実験が楽しかった(冷凍倉庫見学)
- ・すごく楽しかった(共通)

など、アンケート用紙から楽しかった気持ちがたくさん伝わってくる文章が多く見られました。

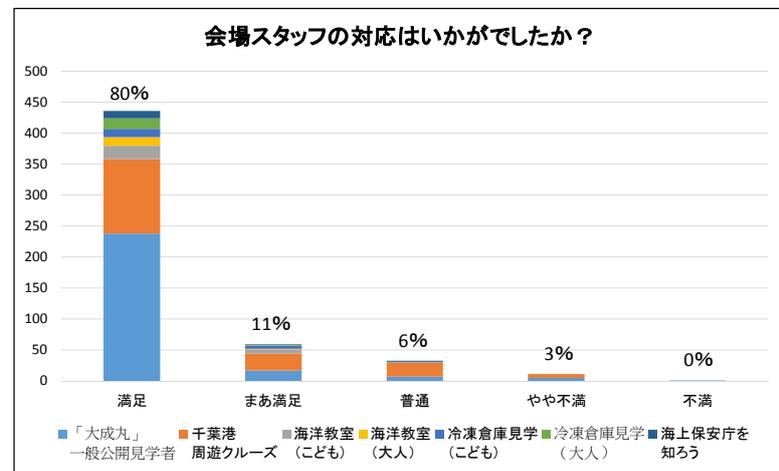
多くの子供達が、また参加したいと思える楽しいイベントを開催できるように、内容の充実や見直しを図っていきます。



■ Q: 会場スタッフの対応はいかがでしたか？

全参加者のうち80%の方から「満足」との回答をいただきました。このスタッフの中には「大成丸」の実習生、千葉港周遊クルーズを運営している千葉ポートサービスの船員さん、今回のイベントにご協力頂いた千葉ポートクイーンも含まれており、以下のような感想もいただきました。

- ・親切で感じのよい対応でした(共通)
- ・案内役(実習生)の方に好感がもてました(一般公開)
- ・質問に丁寧に答えてくれた(一般公開)
- ・スタッフの皆さんが明るい(クルーズ)
- ・ポートクイーンのアナウンス・笑顔が良かった(クルーズ)



【総括】

「ちば港を知ろう！海と日本プロジェクト」の参加者へのアンケート調査により、たくさんのデータが集まりました。たとえば海洋教室と冷凍倉庫見学では大人と子供の意見、両方が得られることにより、子供目線での内容の充実が必要ということがわかりました。また改善してほしい所として、イベント内容に関してはご意見が少なかったのですが、「広報をもっとがんばってほしい」などPR不足をご指摘される声が多かったのは意外でした。

このアンケート結果を活かし、次回開催へ役立てていきたいと考えています。